

表紙物語

今月の表紙は、3月23日に五所地区の「ぐみくらぶ」の役員5名が春彼岸の恒例行事の「百万偏念仏」を行った様子である。

この行事は、約70年続いている行事であり、5メートル程の数珠を参加者で回し、その際に「南無阿弥陀仏」とリズムに乗って声をかけながら行っている。大きな数珠には直径15センチほどの大きな念珠が1つあり、それには3年に1回恐山にいるイタコに干支の焼き印を押してもらっている。その念珠が焼き印で埋め尽くされると地蔵様に供えるという。

ぐみくらぶ会長の工藤睦枝さんは「この行事には年々参加する会員が少なくなっている。参加人数が多かったときは20人近くいたが今は役員5名の参加が常習化している。この先もこの行事は継続してもらいたいから、若い会員にどんどん声掛けて伝統を受け継いでほしい」と話していた。



念珠に推された干支の焼き印



数珠回しでは鐘を鳴らしてリズムをとる



地蔵様が着ている着物は会員が裁縫して作ったもの



いつも五所地区を見守る岩木山

JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2022.4 Vol.477

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2022年4月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年3月末日現在〉

組合員数	861人
（うち准組合員数	374人）
出資金	616,900千円
貯金額	9,656,332千円
共済保有高	3,179,036万円